エンジニアのためのドキュメンテーション入門 4

WiKi系ツールの留意点

運用設計ラーニング

2025-08-27

2つの命題

ドキュメントは誰のために書くものか?

WiKi系ツールは誰のためのツールか?

2つの命題

ドキュメントは誰のために書くものか?

読み手のために書く (一方向のコミュニケーション)

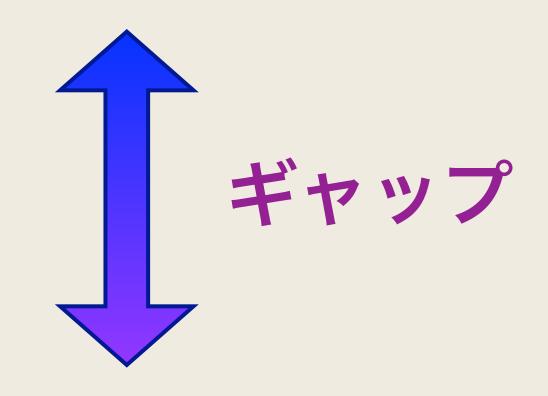
WiKi系ツールは誰のためのツールか?

書き手のための機能がメイン



ドキュメント管理とWiKi系ツール

ドキュメントは読み手のために書く



ドキュメント管理にWiKi系ツールを使うときに 意識しておくことが重要

WiKi系ツールは書き手のためのツール

普段からギャップを意識しておかないと 「書き手のためのドキュメント」に陥りやすい



WiKi系ツールが適している用途

WiKi系ツールは書き手のためのツール

- ·書き手しかいない環境において、簡易的な情報管理には向いている。
- ・単発イベントの運営や、短期的なプロジェクトなどで、**寿命の短い情報を管理**するとき、は特にデメリットが生じない。

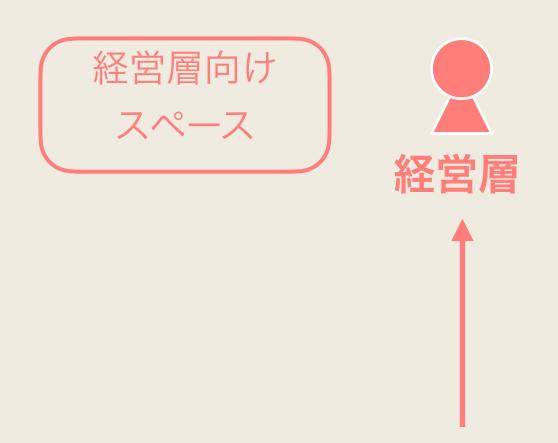
逆に、これ以外の用途では、かなり配慮しないと 「書き手のためのドキュメント」に陥りやすい



WiKiツール ポリシー (私案)

はじめに 学習ガイド 本編 まとめ ステップアップ

読者毎にポータル/スペースを分ける





ユーザー向け スペース

社外ユーザー向けポータル 社内ユーザー向けポータル



運用組織

内部向けスペース

監視チーム向け スペース



支援組織

支援組織向けスペース

各ポータル/スペースの構造/目次を揃える



経営層

標準的な目次

個別事情に合わせるため 「統一」はしない。

ただ、意味の無い独自は排除する



支援組織

運用組織

ユーザー向け スペース

標準的な目次

内部向け スペース

支援組織向け スペース

標準的な目次

標準的な目次

監視チーム向け スペース

標準的な目次

構造/目次は読み手視点で作る



読み手視点の目次

経営層

書き手は**機能別、フォーマットタイプ別**に 目次を作りがち。

読み手は目的別(逆引き的)の目次を求める。





運用組織

支援組織

ユーザー向け スペース

読み手視点の目次

スペース

内部向け

読み手視点の目次

読み手視点の目次

監視チーム向け スペース 支援組織向け スペース

読み手視点の目次

書き手も読み手も「価値分類」の目次が基本



経営層

読み手視点の目次



資産性ドキュメント

概要書・設計書・手順書など

収益性ドキュメント

計画・実績など

費用性ドキュメント

議事録・週報など



運用組織

支援組織

支援組織向け スペース

読み手視点の目次

ユーザー向け スペース

読み手視点の目次

読み手視点の目次

スペース

内部向け

読み手視点の目次

監視チーム向け スペース

読み手の粒度でツリーを分割する

企画

設計

構築

運用 ・・・・ 時系列でMECE

サービスA

サービスA 企画 サービスA 設計 サービスA 構築 サービスA 運用

サービスB

サービスB 企画 サービスB 設計 サービスB 構築

サービスB 運用

サービスC

•

事業面でMECE

サービスC 企画

サービスC 設計

サービスC 構築 サービスC 運用

内容が重複する場合、「読み手」を重視して配置場所を決定する